

デジタル技術の活用及びDX推進の取組状況

デジタル技術が社会や当社の競争環境に与える影響について

デジタル技術の進歩はめざましく、今や、パソコンやスマートフォンやインターネットが生活や事業活動を行う上で不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術は進展し、我々にとってさらに重要なインフラ・経営資源になる事は明らかです。

このような社会状況の中、高品質な衣料品やサービスを提供し続けるためには、デジタル技術を活用した生産性の向上とお客様の利便性の向上が不可欠であると考えております。

経営ビジョン

堅牢なセキュリティー体制の整備を前提に、お客様情報や事務管理の全てをデジタル化し、迅速且つ正確なサービスを提供できる体制を構築致します。

これにより、お客様の利便性の向上と満足度の向上及び、当社の生産性の向上を図り、末永くお客様のファッションアドバイザーとしてお付き合い頂ける企業を目指します。

経営及びデジタル技術等の活用の具体的な方策(戦略)

衣料品の製造だけでなく、高級衣料品に特化した洋服のリフォームサービスも新たに行います。リフォームサービスは全国からの依頼に応えられるようにインターネット上で受付が行える仕組みを構築し、受付だけでなく、作業の進捗管理などもシステム内で行える機能を持たせ、生産性の向上と顧客満足度の向上を目指します。

このように、受注から納品までを全て電子化し、社内業務の効率化を図ります。

戦略を効果的に進めるための体制

代表取締役 五十嵐 徹がCIO（最高情報責任者）とCISO（最高セキュリティ責任者）を兼務し、CIOをリーダーとした情報システム部門（プロジェクトチーム）を発足します。プロジェクトチームには、システム開発会社のシステムエンジニアを社外メンバーとして迎え入れ、効果的なシステムの運用について議論するプロジェクト会議を定期的に行います。

また、プロジェクトメンバーにはITコーディネーターと、ITパスポートの資格取得を奨励し、受験費用の一部を会社負担すると共に資格取得者には手当を支給するなどして、積極的にIT人材の育成に努めます。これにより、1年以内にITコーディネーター有資格者1名以上とITパスポート資格者1名以上を情報システム部員に所属させます。社内外の研修や勉強会に従業員を参加させ、情報システムに精通した人材を育成します。